

第19回世界半導体会議(WSC)の開催および結果について

営業秘密、職務発明等を含む知的財産権、およびMCOの無税化等を含む通商についての共同声明および政府への提言を策定

半導体分野では通商、環境、知的財産権等の国際的課題に関し、半導体業界として共通に対処するための国際協議・調整のスキームが確立しています。2月のJSTC会合、5月のWSC/JSTC会合、10月のGAMS/JSTC会合(*1~3)があり、日本、米国、欧州、韓国、チャイニーズタイペイおよび中国の世界6極が定期的に一堂に会し種々の問題解決にあたるよう運営されています。JSTC会合、WSC/JSTC会合での議論を通して、業界としての共通課題を認識し、政府に要望すべき項目は、声明という形で纏め、GAMS/JSTC会合にて6極の政府が検討することになります。検討結果のフィードバックを受け、さらに必要な場合は民間で検討を重ねます。これは半導体業界特有なもので他に類をみないユニークかつ有効な仕組みとなっています。

本年5月、中華人民共和国・杭州にてWSC/JSTC会合が開催されましたので、そこでの活動をご紹介します。
(JSTC関連会合5月19、20、22日、WSC会合5月21日)

今回の主催国は中華人民共和国で、WSC会合の議長は中国の半導体工業会を代表してSMIC社 CEO兼執行取締役 Tzu-Yin Chiu氏が務めました。日本からは、JEITA 半導体部会・部会長である株式会社 東芝 常任顧問 齋藤 昇三氏をはじめ、ルネサスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長兼COO 鶴丸 哲哉氏、富士通セミコンダクター株式会社 執行役員副社長 八木 春良氏の3名が参加しました。

1. マルチ・コンポーネントIC (MCO) (*4) の普及・促進とさらに次の製品の検討

半導体製品は、絶え間ない技術革新により、新しい機能

を集積した新製品を次々と生み出し、その範囲を拡大しています。WSC は過去8年に渡り、この新製品「MCO (マルチ・コンポーネントIC)」を広く普及させるため、無関税化に向けた取り組みを行ってきました。現在情報技術協定 (ITA: Information Technology Agreement) の拡大交渉のなかでも議論されています。

今回のWSCでは、世界税関機構 (WCO: World Customs Organization) の見直し小委員会 (Review Subcommittee) において議論されているMCOの説明書について、WSC案をベースとして作成されたWCO議長案を支持していくことを合意いたしました。また、WCOの2022年の次期の関税分類の見直しに向けて、技術の進歩に関税分類を追いつかせるべく、活動を開始しています。

2. 知的財産権の保護

営業秘密は企業にとって重要な知的財産ですが、ひとたび盗まれたり、公開されてしまえば、その価値を失い甚大な損失を蒙ります。WSCでは昨年に引き続き営業秘密の保護を強化するよう提唱しています。今年は、貿易協定や国内法の整備を通して営業秘密の保護強化を実現するにあたり、念頭に置くべき主要要素、たとえば国境を越えた権利侵害における取扱い (管轄権) を含む提言をまとめました。

また、パテントトロールと呼ばれる一部企業が特許訴訟の乱用を行っていますが、WSCは既存の法律・規制ではこれらの乱用から完全に保護できていないとして、従来からの要望を再度提唱しています。また、職務発明について、国によっては発明者への報酬の算定方法を法律・規則で定めているところがあります。WSCは、職務発明の報

酬について、従業員と企業との間の契約や社内規則を尊重すべきと主張しています。更に、特許の質を向上するため、WSCは世界知的所有権機関 (WIPO: World Intellectual Property Organization) と協力しております。

3. 暗号認証

本年10月のGAMS (サンフランシスコ) で併催される暗号認証セミナーのアジェンダについて議論しました。昨年10月のGAMS (福岡) での開催での議論をベースに、官民合同で行うこのセミナーにおいては6極の関係者が一堂に会して議論する計画であり、さらに強い期待をもって進めています。

4. 税関課題

半導体の円滑な貿易を達成すべく、世界貿易機関 (WTO: World Trade Organization) の貿易円滑化協定の早期締結が実現するよう、求めていくことを確認しました。今後、新しいタイプの半導体も視野に入れ、将来の関税分類の見直しも念頭に置いて調和に向けた検討を進めることに合意しました。

5. 半導体製品の模倣品対策

WSCはこれまで、半導体模倣品に対して、その危険性を広く知らせよう取り組んできました。今年、6月24日に行われる世界反模倣品デーに先立ち、6月4日に英国ヒースローで開催されるイベントに欧州半導体工業会が参加し、WSCの取り組みを紹介すると共にプレスリリースを行い、世界模倣品デーの活動を支援することを表明致しました。

6. 成長イニシアティブ

半導体産業の成長側面 (自動車分野、エネルギー分野、健康分野) に焦点をあて、議論してまいりましたが、結果として、環境物品協定 (EGA: Environmental Goods

Agreement) を支持していくことが、合意されました。

7. マーケット

半導体市場は2014年3,360億ドルの売り上げとなり、前年比9.9%の伸びとなりました。地域としてはアメリカおよびアジア、太平洋の地域が伸びていることを確認しました。

以上に加えてWSCは、環境、OECD BEPS (税源浸食と利益移転)、紛争鉱物など、世界的な貿易を前提としている半導体産業の成長を阻害する可能性のある種々の規則の動向に大きな関心を持っており、それらについても議論致しました。また、WSCは、関税障壁の撤廃、自由貿易の促進が半導体産業に多大な影響があることを認識しており、ITAの推進について、各国政府及びWTOへ働きかけています。

WSCは、今回の結果として共同声明 (英文) を採択し、追って、Webサイト (<http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>) に掲載される予定です。

(参考)

■WSC: 1996年8月の日米半導体協定の終結を受けて、既にグローバル化していた半導体のビジネスを反映して、多極の場で世界の半導体業界の共通問題について協議することが必要との認識に基づき、日米業界でWSCの設立に合意、1997年4月に日米欧韓の半導体業界が参加してWSCの最初のミーティングをハワイで開催、今回で19回目となる。
WSCのWebサイト: <http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>

(* 1) JSTC (Joint Steering Committee)

企業委員会による実務レベル会合

(* 2) WSC (World Semiconductor Council)

半導体企業トップレベル会合

JSTC 提案を審議・承認し且つ必要に応じて各国政府レベルに業界要望を掲げる

(* 3) GAMS (Government/Authorities Meeting on Semiconductors)

政府レベル協議でWSC 要望を審議決定する。

(* 4) MCO (マルチ・コンポーネント IC): 技術の発展に伴い、モノシリック IC と共に能動素子、受動素子、その他の部品が同一パッケージ内に同梱された新型半導体のこと。